

資産運用レポート：自己分析（2024年版）

はじめに

私は今まで「負けパターン」の特定に重きを置いた売買履歴の分析を行ってきました。損失の原因を特定することにより同じミスを未然に防げれば、結果的に投資の損益が改善されると考えていたからです。

その一方で「勝ちパターン」の特定にはあまり関心を持っていませんでした。しかし、これはもったいない話です。もしも「勝てる可能性の高い、何らかの規則性」を見つけられれば、次のような対応が可能だからです。

- 「勝ちパターン」の出現まで粘り強く待てる
- 「勝ちパターン」でまとまった資金を投じられる

今回の自己分析では、自分の投資に「勝ちパターン」が存在するのか、考察してみました。

2倍以上のリターンを達成した9銘柄

表1は2002年から2006年にかけて、2倍以上のリターンを達成した9銘柄です。共通している条件として、下記の3つがあげられます。

- (1) 小型株
- (2) 内需関連の小売業・サービス業
- (3) 成熟産業や不人気業種

ところが売買履歴を確認してみると、この3つの条件を満たしている銘柄に投資を行っても、結果は勝ったり負けたりでした。よってこれだけで「勝ちパターン」と称するのは、無理がありそうです。

★表1：2倍以上のリターンを達成した9銘柄

コード	社名	売り		買い		リターン (倍)	保有日数
		日付	株価	日付	株価		
1	4314 ダヴィンチ・アドバイ	2004/4/8	477,500	2003/3/14	107,500	4.44	391
2	8868 アーバンコーポレイ	2006/2/20	7,270	2004/10/19	2,080	3.50	489
3	4680 ラウンドワン	2004/8/25	224,000	2002/11/7	85,500	2.62	657
4	8567 クレディア	2005/8/19	4,240	2004/5/24	1,620	2.62	452
5	2314 レントラックジャパン	2004/8/12	980	2004/1/22	375	2.61	203
6	2726 パル	2004/4/8	6,039	2002/5/1	2,380	2.54	708
7	8898 センチュリー21・ジヤ	2004/5/10	1,930,000	2003/10/28	820,000	2.35	195
8	8907 フージャースコーポ	2006/12/1	155,000	2004/10/24	71,667	2.16	768
9	4668 明光ネットワークジ	2005/2/21	2,050	2004/1/8	993	2.07	410

注：手数料、税金は考慮していない